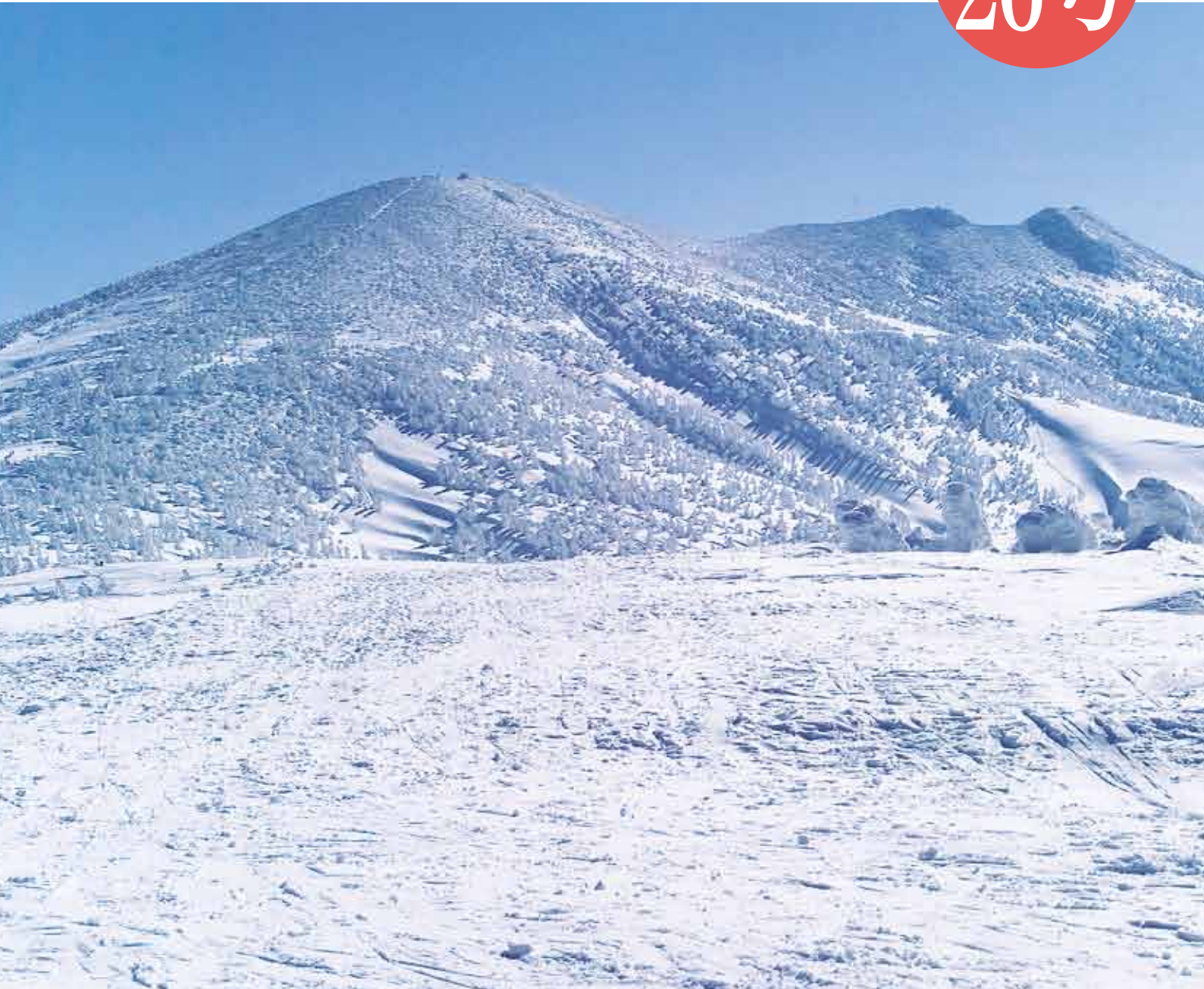


老健あおもり

RŌKEN AOMORI

2014
26号



公益社団法人 青森県老人保健施設協会

老健あおもり
2014.26

目次

巻頭言 ①

平成26年度表彰 ②

支部だより ③

特集 認知症ケア⑩ ⑥

料理自慢 ⑨

施設だより ⑪

青森県老人保健施設マップ ②②



表紙写真

八甲田山（十和田市）



平成25年医療・介護総合確保法が成立し、地域包括ケアシステムが今後、医療、介護の分野での基本的枠組みとなった。地域包括ケアシステムとは要介護高齢者や障害者が地域で継続して在宅生活していけるように医療、保健、福祉、ボランティアなど他職種が連携して援助していくシステムである。そのため老人保健施設には在宅復帰へ向けた取り組みが求められている。

しかしわが地方においては人口が急減している。長期におよぶ少子化による自然減のほかに若者が職を求め都市へ流出する社会減の二つが主因である。したがって人口減の主役は64歳以下の若年世代である。一方高齢者の方は高齢化率が年々増加しているものの実際の高齢者人口は日本全体と比べて20年も早いH32年でピークを迎えると推計されている。

その中でも75歳以上の後期高齢者の比率が高くなっていく。そのことは認知症や医療依存度の高い要介護高齢者の増加が増えていくことを意味している。地方であっても近年は地縁、血縁関係は薄れており、核家族化による独居高齢者が増えるような状況ではいくら自宅で最期までケアしていこうにもおのずと限界があるように思える。

地域包括ケアシステムの考え方からすると在宅復帰とは自宅復帰を意味するのではなく、自宅からグループホームや居住系施設への住み替えを意味することになる。はたして重度の要介護者のケアの質は担保されるのだろうか。老人保健施設はリハビリによって在宅復帰を果たす役目だけに特化していいのだろうか。

現在青森県の施設介護サービス給付は全国で25位である。一方在宅介護サービス給付は全国で10位であり、とりわけグループホーム給付は全国1位で、居住系施設はここ2～3年で倍増している。介護サービスの供給量は十分あるなかで老人保健施設の持つ重度認知症対応、医療重度者対応、リハビリ機能などの多機能性の意義が今問われている。



巻頭言

介護老人保健施設の存在意義について

—人口急減社会を迎えて—

介護老人保健施設 幸陽荘 理事長 梅村芳文

平成26年度 厚生労働大臣表彰

受賞者

青森南老人保健施設

甲田苑

理事長 関 谷 哲 義

平成26年度 公益社団法人 全国老人保健施設協会会長表彰

受賞者

介護老人保健施設

幸陽荘

理事長 梅 村 芳 文

受賞施設

【施設 加入20年以上】

青森南老人保健施設 甲田苑

介護老人保健施設 明生園

介護老人保健施設 えんじゅの里

介護老人保健施設 三笠ケアセンター

平成26年度 青森県知事表彰

受賞者

介護老人保健施設

はまなす苑

武 田 智 彦

青森地区支部研修会報告

事例内容を模擬体験しグループ討議を通して意見を出し合い交流を深めるといった目的で講師青森慈恵会病院総合相談室 精神保健福祉士 太田 恭輔氏を招き開催しました。

ケース事例を事前に参加各施設へ配布し個人予習を行い講義へ望むようお願いしていました。

2時間の所要時間で前半は「ケースメソッド」についての説明、方法を学びグループ討議で意見を出し合い、その後まとめた意見を各グループごとに発表する内容でした。

施設の稼働率についての事例で参加各施設でも実際に討議される内容と思われ、非常に緊張感のある雰囲気の中で意見を出し合っていました。

ケースメソッドは事例研究と類似していますが、講師曰く施設で行う場合の事例作成のポイントが、事例に出てくる人物の名前は全て変え内容も少し脚色する事だそうです。

その後自施設にて入所者の概要を読み返す際に私自身の名前に置き換え読み返すだけで感情移入が違い、その方の人生を模擬体験した感覚になり自身の新たな視点を見つけ出したような気がしています。

ケースメソッド教育とは

1920年代に米国ハーバード大学で誕生し、ハーバード・ビジネス・スクールで大きく発展。

1962年に慶応義塾大学のビジネススクールに導入。特定の事例を解釈しそこからあらゆる事態に適した最善策を討議して導き出す教育方法。

獲得できるもの

主人公の立場で考え判断した事を口に出し、クラスで吟味すれば当事者に勝るとも劣らない教育効果の発揮が期待できる。



津軽支部研修会報告

平成26年度 公益社団法人 青森県老人保健施設協会津軽支部 研修会

日時：平成26年10月15日 会場：弘前市医師会 4階 視聴覚室

講演：「医療・介護の現場における接遇について」

講師 医療法人サンメディコ 下田クリニック
言語聴覚士 菊池博子

大手航空会社でキャビンアテンダント（客室乗務員）として勤務されていた経歴があり、その中で、旅客機の客室に置いて、主に乗客の接客サービスに従事した経験を基に講演して頂きました。

講演内容は、基本的なマナーである要素①「身だしなみ」②「表情」③「態度」④「挨拶」⑤「言葉遣い」、第一印象の重要性等、一つ一つ具体的に説明され、演習を交えての分かりやすい講演でした。

日頃、表情や身だしなみ、表情（笑顔）等、自分を見つめ直すことが出来た講演となりました。



県南支部研修会報告

平成26年10月2日（木）十和田富士屋グランドホールで「青森県介護老人保健施設協会県南支部研修会 看護・介護分科会」を開催致しました。

看護職員・介護職員を対象とした内容でしたが、16施設から様々な職種の施設スタッフ68名が参加しました。

前半は、東京で介護コンサルタントをしており、日総研出版などから多数の著書を出版している、株式会社ねこの手 代表の伊藤亜記先生を講師にお迎えして、『記録の重要性と実地指導対策』と題して研修会を実施しました。記録は、ただ書けばよいというものではなく、自分たち介護スタッフが利用者様をケアした証明として、丁寧に書く事が必要であると改めて感じました。

後半の分科会は、支部の14施設が参加して「事故、ヒヤリハットの対応方法について」「人材育成について」というテーマに分かれてグループ討議を行いました。それぞれの施設の現状を聞くと、直面している課題が同じで共感できる部分も多く、話す時間が足りない程でした。あっという間の時間でしたが、他施設との情報を交換する機会が持てた事で、視野が広がり、課題解決へのきっかけになることを期待しています。



認知症のタイプで異なるケア

★ 多発梗塞性認知症とアルツハイマー型認知症では、その心理特性もケアの仕方もおのずと違ってきます。まず、基本的なケアについて理解しましょう。

ケアの基本

多発梗塞型認知症	アルツハイマー型認知症
居室	
<p>★ 居室で静に</p> <p>梗塞型認知症では、情報処理に問題があり、処理能力以上に情報が入ってくるとパニックに陥ってしまいます。したがって、住環境も静かな環境がよく、居室も大部屋より個室で一人あるいは気のあった人同士が二人でいるのが精神的に安定します。</p>	<p>★ 大部屋でにぎやかに</p> <p>アルツハイマー型認知症では、一人静かな所にいると不安が増長しますから、逆に大部屋で大勢でにぎやかに暮らした方が精神的に落ち着きます。</p>
生活ペース	
<p>★ 自分のペースで</p> <p>梗塞型認知症では、情報処理ネットワークの一部が切れて、情報処理の時間が遅くなります。身体機能も神経線維の影響でゆっくりになっていきます。そのため、生活ペースが速いといけなくなりますので、ケアはその高齢者のスピードに合わせる必要があります。</p>	<p>★ 他人のペースにあわせ</p> <p>アルツハイマー型認知症では、周囲や他者に自分を過同調させる心理特性があり、必要な行動は大勢と一緒に一気に全体のペースに乗せて済ませてしまうと上手くいきます。</p>
ケアの関係	
<p>★ ペアの関係</p> <p>梗塞型認知症では、大勢の人がいるにぎやかな環境では、情報が多くパニックに陥ってしまいますから、ケアも一対一のペアの関係が向いています。</p>	<p>★ グループの関係</p> <p>アルツハイマー型認知症では、一人をトイレや入浴に連れて行こうとするのではなく、「さあ、みんなで行きましょう」とグループで誘えば上手くいきます。</p>
療法	
<p>★ 個別療法</p> <p>リハビリテーションや各種療法、レクリエーションなどにおいても、梗塞型認知症では</p>	<p>★ グループ療法</p> <p>アルツハイマー型認知症では、一対一ではすぐ飽きて長続きしませんが、大勢でにぎや</p>

* 引用文献：認知症ねっと (<http://www.ninchisho.net>)

<p>高齢者と治療・介助者が一対一で個別にその人のペースに合わせて行くと上手くいきます。</p>	<p>かに行くと楽しく一生懸命になります。</p>
<p>性 格</p>	
<p>★ 人見知り 梗塞型認知症は情報処理障害のため、新しく人間関係を作ることが難しく、その確立には時間がかかるため、人見知りとなります。また、現実の世界に生きていますから、人を選び何かのきっかけ（同郷など）など現実的なつながりから始まります。</p>	<p>★ 一目ぼれ アルツハイマー型認知症では、会った瞬間にその人が好きか嫌いか一瞬の感性で決まってしまう。ですから、最初の印象、笑顔やユーモアなどで印象をよくすることができるでしょう。</p>
<p>人間関係</p>	
<p>★ 間をとる 梗塞型認知症では状況不安があり、感情のコントロールが悪くなっています。そのため、自分と他者の距離が急に接近すると突然感情が爆発してしまうことがあります。ある一定の距離をおいてお世話をするのが大切です。</p>	<p>★ ベったり密着 アルツハイマー型認知症では原不安が強いいため、人間関係はできるだけ密着していた方がよく、心理的にも物理的にもベったり密着するのがよいようです。</p>
<p>説明と納得</p>	
<p>★ 理屈 梗塞型認知症の高齢者は理論や損得の通用する現実の世界で生きていますから、きちんと理屈にあった筋道の通った説明をしなければなりません。</p>	<p>★ 感性 アルツハイマー型認知症の世界は虚構の世界であり、そこは理屈や損得は通用せず、感性のみで直感的に判断を下しますから、直感で納得していただけるようにすることが大切です。施設などでは、部屋のドアに花などをつけて直感的に自分の部屋と判別できるようにするなどの配慮も有効です。</p>



*引用文献：認知症ねっと (<http://www.ninchisho.net>)

以上をまとめると・・・

多発梗塞型認知症	アルツハイマー型認知症
処 遇	
<p>★ 個別処遇</p> <p>梗塞型認知症では個々別々に、その方のペースでゆっくりと一定の距離をとりながらケアしていくことが望まれます。</p>	<p>★ 集団処遇</p> <p>アルツハイマー型認知症では、集団で、集団のペースに乗せて、にぎやかに大勢が近くに集まって生活していくのがよいと思われます。</p>
ケアの形態	
<p>★ 混合ケア</p> <p>梗塞型認知症は、現実の理屈世界で生きていますので、その方々を認知症の人のみの世界に入れてしまうと現実世界を忘れてしまい、一層認知症が進行する危険性があります。ですので、認知症ではない方々との混合生活が望ましいと思われれます。</p>	<p>★ 分類ケア</p> <p>逆に、アルツハイマー型認知症の高齢者は、虚構の世界に生きていますから、この方々を現実の世界に引き戻そうとすると一層不安が募ります。ですので、アルツハイマー型認知症の方々は、現実の世界とは別に虚構の世界を準備して、そこで分類ケアをしていくことが望ましいと思われれます。</p>

*引用文献

: 認知症ねっと (<http://www.ninchisho.net>)



料理自慢

希望ヶ丘ホーム
栄養士 柴田 八千代

希望ヶ丘ホームでは、毎週土曜日の14：30から、手作りのおやつと好きな飲み物（コーヒー、紅茶、ココアから選択）で喫茶店の雰囲気味わっていただいています。

提供されるおやつは、ケーキ等の洋菓子だけではなく、和菓子や肉まんなどさまざまです。

「パンを食べたい。」と希望される方も多く、フレンチトーストや揚げパンツナマヨネーズパン等も提供されています。

今日はその中から野菜ジュースを使用して作ったチーズたっぷりのマフィンを紹介します。しっとりやわらかい生地とチーズのカリカリとした異なる2つの食感も楽しめます。野菜ジュースの色もとてもきれいに仕上がり、おいしいだけでなくヘルシーで、チーズの香りも食欲をそそります。

混ぜるだけで簡単に出来るので、一度作ってみてはいかがでしょうか。



作り方は
次のページへ!!



野菜ジュースマフィン



作り方

- ①バターとたまごは常温に戻しておく。
オーブンは170度に余熱しておく。
- ②ボールにバターを入れ、やわらかくなるまで練り、クリーム状にする。
やわらかくなったら砂糖を加えよく混ぜる。
卵を1個ずつ加え、その都度よく混ぜる。
- ③野菜ジュースも加えて混ぜたらホットケーキミックスを加え、切るように艶がでるまで混ぜ合わせる。
- ④カップに入れ、トッピングにとろけるチーズをのせてオーブンへ入れる。
- ⑤170度で20～30分焼けば出来上がり。
※焼き時間はオーブンによって異なります。



材料

マフィン型6個分

ホットケーキミックス	……200g
無塩バター	……100g
砂糖	……60g
卵	……2個
野菜ジュース	……50cc
とろけるチーズ	……お好みの量

嚥下体操で、おいしくご飯！

元気良く健康に過ごす為には、まず「食べる」ことが大切です。

当苑では、「口から食べよう、おいしく、元気に！」というコンセプトのもと、言語聴覚士による昼食前の嚥下体操（健口体操）を実施しています。

上・下肢の体操のみでなく、胸郭の拡大運動や発声訓練、オーラルディアドコキネシスなど呼吸器や口腔器官の運動に重点を置いた嚥下体操は、利用者にとっても好評で、食事中的ムセの軽減や口腔機能維持につながっています。



施設だより

介護老人保健施設

やすらぎ苑

三沢市

「ザ・スコップ三味線！」

10月の通所リハビリテーション慰問の方は、なんとスコップ三味線世界大会チャンピオンにも輝いたサフロ吉崎様がいらっしゃいました。見事なバチ（栓抜き）さばきで津軽三味線や歌謡曲をたくさん演奏してくれました。利用者さんにもスコップを準備していただき、みんなと一緒に「べ、べ、べんべん」と大合奏の始まりです。叩いているうちに気分爽快、みなさん笑顔であっという間の楽しいひとときでした。



施設だより

介護老人保健施設

ニューライフ芙蓉

青森市

「高田分館まつり～ステージ発表」

11月2日（日）。高田地区の多くの住民に楽しんでもらおうと「第4回高田分館まつり」が青森市高田中央市民センター高田分館主催で盛大に開催されました。当施設カトレアは、毎回、ステージ発表の部に出演させて頂き、地域の皆さんとの交流を楽しんでいます。

今回の演目は『昭和歌謡ショー』。笑って、聴かせて、踊ると、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

今後も、地域の皆さんに元気を与え、地域の活性化に少しでもお役に立てるよう頑張ります。

●今年の発表●



●春の町会大清掃●

いつも地域の皆さんに
助けてもらってばかりなので、
少しは地域にお手伝い。
当施設カトレアだけでなく、
老人ホーム、居宅ケアマネ
包括職員と一緒に。



施設だより

介護老人保健施設

カトレア

青森市

「季節の旬な果物を収穫&味わう♡」

当施設職員の自宅がリンゴ農家ということもあり、季節の旬な果物を、自分の手で収穫し、味わいました。

リンゴの収穫は、手慣れている方々が多く、収穫の仕方を職員が教えられている場面も見られました。

自分で美味しそうなリンゴを選んで、自分の手でリンゴを収穫し、収穫したばかりの真っ赤な新鮮なリンゴを手に取り、その場で丸かじりする方もいました。

晴天の秋空の下で、美味しいリンゴを味わい、季節(秋)を感じることが出来ました。



「合同文化祭」

今年も、併設病院、関連施設合同で文化祭が行われました。午前には、まきばの保育園の園児の皆さんの迫力ある太鼓の演奏に感動され、午後は花柳流花すず会の皆さんの華麗な踊りにうっとりされ、とても喜ばれていました。

その他、作品展示・バザー・訪問販売・食堂・健康チェックコーナー・物忘れタッチパネル体験コーナー等、たくさんの催し物で、1日を存分に楽しまれました。



施設だより

介護老人保健施設

みちのく苑

十和田市

寒い季節はやっぱりお鍋!

施設だより

東通村介護老人保健施設

のはなしようぶ

東通村

当施設のデイケアでは、毎年寒い季節の10月～3月まで月に1回、昼食時に鍋の会を行っています。鍋は魚と肉の2種類で、熱いおつゆを「ふ～ふ～」すすり、汗をかきながら食べています。

家で食べるのとは違って、みんなでワイワイいいながら、日頃あまり食欲のない方も、楽しく、おいしく、「おかわり、おかわり」で、「おなかいっぱい」と満足そうです。

職員も一緒に、いろいろなお話をしながら食べていたら、あらもう鍋がからっぽになっちゃいました!



岩淵商店OPEN

幸陽荘では、施設長の名前を頂いて『岩淵商店』をオープンしました。

岩淵商店では、お金の通貨を《ブッチ》と決め、商品の値段を《100ブッチ》《50ブッチ》にして、入居者様が計算しやすいように工夫をし、楽しんでいただいております。



これとこれで200
ブッチだな!!



施設だより
介護老人保健施設
幸陽荘
弘前市

「夕涼み会」感謝をこめて

平成26年8月3日（日）に福祉の里創立20周年記念事業の一つのみのり苑「夕涼み会」を開催いたしました。日頃ご利用いただいている利用者様、お世話になっている地域住民の皆様への感謝をテーマとしました。

盆踊りやトークショーなどのステージ発表、串もちなど地元ならではの出店、子供向けのゲームコーナーと、利用者様やご家族様、地域の皆様楽しんでいただくことができましたと思います。祭りの締めくくりの力強い和太鼓の音と夜空を彩る打ち上げ花火のコラボレーションには、会場からも大きな歓声が上がりました。

私たちは、これからも感謝の気持ちを忘れず、利用者様の笑顔を絶やさぬよう一層サービス提供に努めていきます。



これからも ずっとこのまちで「文化展」

平成26年11月9日（日）福祉の里 創立20周年記念事業 介護老人保健施設のへじ・総合福祉センターのへじ「文化展」を開催いたしました。今年は20周年を迎えることができましたことに対し、利用者様、ご家族、地域の皆様への「感謝」の気持ちを表すことをテーマとしました。青森県の出前講座『健康寿命をアップするために』では、来場者で満席となり、地域への情報発信の場を作れたのではないかと思います。その他、地元バンドや民謡・踊りのステージ、職員の出し物等で楽しい時間を共有できました。

また普段、口に出せない感謝の思いを「ありがとうメッセージ」として皆様から募集し展示しました。改めて「感謝したい人」、「感謝したいこと」について考え、その気持ちを伝えることの大切さを再認識し、「感謝」の気持ちに包まれた文化展とすることができました。



施設だより
介護老人保健施設
のへじ
野辺地町

ぬり絵クラブ

当施設のぬり絵クラブでは、季節に合わせた作品作りに取り組んでいます。テーマを決めるとスタッフが大きな絵を書き、利用者皆で協力し合いながら色を塗っていきます。コミュニケーションを取りながら作業している内に様々な発想が生まれ、素晴らしい作品に仕上がります。



施設だより

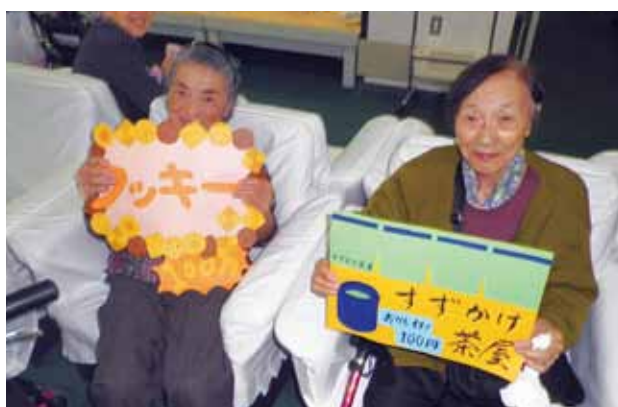
老人保健施設

すずかけの里

青森市

秋の文化祭

今年もすずかけの里『秋の文化祭』が開催されました。手芸クラブで作った作品展示の他、すずかけ茶屋・ゲームコーナーなど催し物があり、ご家族の方と一緒に買い物も楽しまれていました。



施設だより

老人保健施設

すずかけの里

青森市

青森県老人保健施設マップ

No. 施設名 電話番号

(青森地域)

1	青森ナーシングライフ	TEL017-726-5211
2	青照苑	TEL017-788-3000
3	いちい荘	TEL017-726-3855
4	甲田苑	TEL017-728-3939
5	すずかけの里	TEL017-761-1111
6	桐紫苑	TEL017-738-8080
7	ニューライフ芙蓉	TEL017-728-2200
8	みちのく青海荘	TEL017-741-5188
9	ケアガーデン青森	TEL017-744-3311
10	カトレア	TEL017-739-6100
11	たんぼぼ	TEL0174-22-3070
12	なみおか	TEL0172-69-1120
13	津軽医院	TEL0172-62-3101
14	石木医院	TEL017-752-3015

(西北五地域)

15	緑風苑	TEL0173-33-4155
16	ながたい荘	TEL0173-72-1122
17	えんじゅの里	TEL0173-42-3734
18	しらかみのさと	TEL0173-84-3111
19	サンライフかなぎ	TEL0173-53-3292
20	湖水荘	TEL0173-22-5694

(津軽地域)

21	ケアセンター弘前	TEL0172-87-0111
22	平成の家	TEL0172-95-3981
23	うめむら	TEL0172-32-3593
24	弘前リカバリーセンター	TEL0172-27-3322

25	ヴィラ弘前	TEL0172-37-7300
26	幸陽荘	TEL0172-37-8311
27	希望ヶ丘ホーム	TEL0172-87-6655
28	ふじ苑	TEL0172-38-5550
29	サンタハウス弘前	TEL0172-99-1133
30	あしたばの里・黒石	TEL0172-53-1213
31	鳥井野荘	TEL0172-82-5600
32	のぞみ	TEL0172-57-5100
33	三笠ケアセンター	TEL0172-44-8811
34	明生園	TEL0172-65-4066
35	つがる	TEL0172-45-2231





(八戸地域)

36	はくじゅ	TEL0178-28-4001
37	ひばりの里	TEL0178-96-1212
38	サンライフ豊寿苑	TEL0178-29-3232
39	リハビリパーク	TEL0178-47-3000
40	南山苑	TEL0178-27-3027
41	ナーシングホームオリーブ	TEL0178-31-5500
42	ほほえみ三戸	TEL0179-23-5050
43	老健なんぶ	TEL0179-34-3260
44	孔明荘	TEL0178-84-3333
45	南郷メディエルデプラザ	TEL0178-82-2000
46	しんごう	TEL0178-78-3181
47	しもだ	TEL0178-56-4888
48	たっこ	TEL0179-32-3172

(上北地域)

49	みちのく苑	TEL0176-25-1333
50	みのり苑	TEL0176-25-1100
51	ハートランド	TEL0176-25-0122
52	とわだ	TEL0176-27-3131
53	やすらぎ苑	TEL0176-59-3784
54	ナーシングセンター柏葉	TEL0176-62-2200
55	えぼし	TEL0175-65-2666
56	のへじ	TEL0175-65-2333
57	野辺地病院	TEL0175-64-3211
58	ニッコウキスゲ	TEL0175-73-7200

(下北地域)

59	シルバーケアセンターむつ	TEL0175-22-9925
60	はまなす苑	TEL0175-26-3333
61	のほなしょうぶ	TEL0175-28-5400
62	やげん	TEL0175-34-2211

(八戸地域)



白鳥（藤崎町）

◆編集後記◆

雪が降り始め、今年も、寒い季節がやってきました。

全国各地でインフルエンザ、胃腸炎等の感染症も流行っているようです。うがい、手洗い、消毒等、対策し、予防していきましょう。

来年も皆様にとって良い年でありますように。

平成二十六年

十二月吉日

広報委員一同

● 発行／公益社団法人 青森県老人保健施設協会
〒030-0822 青森市中央三丁目20-30 県民福祉プラザ3F
TEL017-776-3868 FAX017-776-3918
URL <http://www.roken-aomori.or.jp>
E-mail jimukyoku@roken-aomori.or.jp

● 印刷／青森コロニー印刷
〒030-0943 青森市幸畑字松元62の3 TEL017-738-2021